

ありがとうの中藤

学校便り 最終号
令和6年3月22日
福井市中藤小学校



今朝目覚めて外を見ると一面が真っ白！桜の訪れの前に、澄んだ冷たい空気の中、「北陸の冬」らしいとても美しい雪景色を見ることができました。私が子どもの頃（昭和40年代）の「北陸の冬」と言えば、いつも130cmから170cm程の雪が降り、登下校時はバス停の看板が足元にある歩道を歩き、路面は圧雪のツルツル状態で長靴スケートを楽しんだものです。体育館の軒下には、自分たちの身長くらい大きな氷柱（つらら）垂れ下がり、それでチャンバラをしたり、喉が渴いたら食べたりしていました。そして、3月中旬頃にやっと道路のアスファルトが見え始めて、やっと春の訪れを感じたものです。そう思うと、本当に「北陸の冬」は大きく様変わりをしました。もう福井県は、決して「雪国」ではないような気がします。明らかに温暖化の影響が大きいことがうかがえます。

「明らかな変化」と言えば、今テレビで『不適切にも程がある』という番組が、大きな反響を呼んでいるそうです。この番組は「昭和」の世相と「令和」の世相を比較した番組で、今「許されないこと」が昭和の時代では「普通」だったことから、番組を通して温故知新のごとく、時代を超えて人の生き方として、何が大切かを示唆していることが分かります。また、『GTO』という番組もここに来て再放送されているとのこと。この番組も型破りな自称『グレートティーチャー鬼塚』先生が、生徒たちの心を掴み、学校を大きく変えていく姿を通して、教育において大切なことを真っ直ぐに表現しています。どちらの番組にも共通していることは、人の道で大切なのは、『形』ではなく『心』だということです。言い換えれば『愛』が最も大切で、『愛が人を育てる』ことが貫かれ（表現され）ていると私は強く感じます。人の真心をあまり感じるができない今の世の中だからこそ、今求められている気がします。

未来は、まさに教育が創り出します。だからこそ、私たち大人がしっかりと襟を正し、5年後、10年後の世の中を想像し、今何をすべきかを見極めて実行し、今の世の中に欠けていること、私たち日本人がずっと大切にしてきたことは何だったかを今一度考え直すときだと感じます。そして、いかに世の中は一人ひとりの力（努力）で成り立っていること、だからこそ、一人ひとりが大切であり、相手を思いやり、感謝の心を大切に生きていくことの尊さを子どもたちに教える必要があると感じています。

この「ありがとうの中藤（学校便り）」も今回で最終号となりました。正直なところ、私は校長職の4年間をこの中藤小学校でやり抜く覚悟で居ただけに、この回をもって最後となるのはとても残念な想いで一杯です。ただ唯一救いなのは、私が教師として多くのことを学び、成長することができた灯明寺中学校が転任先ということです。私にとって『ふるさと』となる場所で、引き続き「ありがとうの『灯中』」（笑）の実現を皆で目指したいと気持ちを新たにしています。

中藤小学校の保護者の皆様、地域の皆様、本当にわずか2年という短い間でしたが、大変お世話になりました。ぜひこれからも小中連携を一層密にして、『町の宝』である子どもたちの健やかな成長を支える教育環境づくりにお力をお貸しください。何卒よろしくお願いいたします。



そして、最後に「ありがとうの中藤っ子」の皆さん。この2年間本当に「ありがとう」の言葉を大切にしながら委員会や様々な活動に取り組んでくれました。皆で創り出すこれからの未来が、心豊かで光り輝くものとなることを切に願っています。皆さんの活躍を心から期待しています。これまで本当に「ありがとう」。

福井市中藤小学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<第114回 「令和5年度卒業証書授与式」が挙行！>



令和6年3月12日（火）の午前9時より、第114代卒業生の「卒業証書授与式」が行われました。あいにくの雨の日となりましたが、122名の卒業生たちは皆、とても凛々しく、実に堂々とした姿でこの中藤小学校を巣立っていきました。その眼差しはとても力強く、澄んでいて、外は雨でしたが心の中はまさに「天晴れ！」でした。この先それぞれの道に進むこととなりますが、ぜひ自分を信じ、仲間と家族を大切にしながら『自分づくりの旅』を謳歌してください。皆さんの更なる活躍を期待しています。

<3/8(金) 卒業記念品贈呈式が挙行！>



令和6年3月8日（金）の午前8時40分より、今年度の卒業生に対し、本校PTAより卒業記念品の贈呈式が行われました。野路徹PTA副会長様から、「中学校へ行っても頑張ってください。」との言葉と共に、卒業記念品として「卒業証書ホルダーとコサージュ（当日着用の胸飾り）」の授与がなされ、卒業生を代表して黒田琉偉くんが授受しました。卒業証書ホルダーは、優しい藤色のとても素敵なものです。卒業生の皆さん、ぜひこの学校での思い出と一緒に、いつまでも大切に保管してくださいね。

<3/11(月) 歌で卒業生を送る会>



<お互いの「感謝の意」を歌で表現し合いました>

3月12日（月）の5限目、「歌で送る会」を行いました。在校生たちはこれまでお世話になった卒業生に対し、感謝の気持ちを込めて「歌よ、ありがとう」という曲を全員で合唱し、卒業生は「旅立ちの日に」を在校生に贈りました。「ありがとう」の心が通い合うとても素敵な時間となりました。